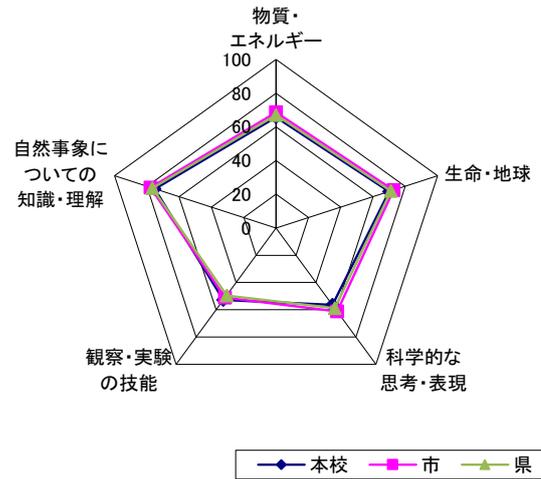


宇都宮市立富士見小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	65.7	68.6	67.0
	生命・地球	70.0	72.7	71.1
観点	科学的な思考・表現	56.4	61.2	58.8
	観察・実験の技能	52.8	51.0	49.5
	自然事象についての知識・理解	75.1	77.7	76.6



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は65.7%であり、県の正答率を1.3ポイント下回った。 ○「ものは体積が同じでも種類で重さが違うことが分かる」の問題の正答率は93.4%で、県の正答率を5.1ポイント上回った。 ●「湯気と水中からでる泡の正体が分かる」の問題の正答率は18.9%で、県の正答率を6.6ポイント下回った。 ●「閉じ込めた空気と水を圧すときの体積の変化を推測する」の問題の正答率は75.5%で、県の正答率を7.8ポイント下回った。 ●「結果から金属の棒の温まり方について説明する」の問題の正答率は22.6%で、県の正答率を7.2ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●得た知識と生活経験が結びついているものは特に理解が高い傾向が見られる。今後の学習で、学習内容を生活に結びつけて考えさせる指導を行う。 ●実験からわかったことを考える時間を十分に確保し、どんなことがわかったのかを明確に言語化するなどして認識を確かなものにするよう努める。 ●授業でキーワードを提示して、そのキーワードを使って自分の言葉でノートに書かせる機会を増やして、記述に慣れるようにさせる。
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> ●本領域の平均正答率は70.0%であり、県の正答率を1.1ポイント下回った。 ○「うでのつくりの図や説明から関節のはたらきが分かる」の問題の正答率は79.2%で、県の正答率を0.6ポイント上回った。 ○「方位磁針の名称が分かる」の問題の正答率は84.0%で、県の正答率を1.7ポイント上回った。 ○「方位磁針の適切な操作方法が分かる」の問題の正答率は38.7%で、県の正答率を7ポイント上回った。 ○「星座の動きを捉えるために適切な記録方法が分かる」の問題の正答率は62.3%で、県の正答率を8.4ポイント上回った。 ●「天気の様子から一日の気温変化の様子を推測する」の問題の正答率は79.2%で、県の正答率を10.4ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気温の変化を表すグラフをかく機会や読みとる機会を増やすために「デジタル記録温度計」を新たに購入し活用する。また、気温の変化を表す折れ線グラフのかき方を算数の学習と結び付けて行う。